

手術室の衛生材料管理改善をめざして ～5Sによる在庫・動線・ピッキングリストの最適化～

衛材管理改善チーム

プロジェクトの背景

- ・2022年より手術衛材の運用は、術式ごとにピッキングリストを用いている。運用開始後、ピッキングリストの種類は多岐にわたり、リスト内容は使用頻度の少ない衛生材料も含まり種類も増加、使用効率の悪い衛材カートとなっている。
- ・病院内の物流倉庫では、手術後の未使用衛生材料の回転が滞り、使用期限切れの衛生材料が発見された。

今回のプロジェクトの目的

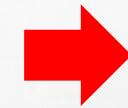
- ・ピッキングリストを最適化し、使用効率の良い衛材カート作成する
- ・物流倉庫内・手術室内の衛生材料の整理整頓を行い、使用期限切れの衛生材料を削減する

1. ピッキングリストの現状

ピッキングリストの種類増加
リスト内の衛生材料の種類増加



物流倉庫の衛生材料
ストックの増加



診療材料費の増加・
期限切れ衛生材料の増加
につながる

ピッキングリスト内容の評価・見直しを行い、リストの統合・削減を行って衛生材料の適正なストック量に出来るのではと考えた。

2. ピッキングリストの改善方法

- ・ピッキングリスト内の衛生材料の内容の評価・見直し
- ・衛材カート内のパターン化（思案中）

使用期限間近の衛生材料カート作成



これまで散在していた使用期限間近の衛生材料を1カートに集約し、優先的に使用してもらえるようにした。
医師・看護師は、このカート内の衛生材料をチェックし、積極的に使用している。

《使用期限（2026年1月）前に使用できた衛生材料費》
100,525円

《2026年3月末までの期限切れ切迫衛生材料費》
71,054円

引き続き、優先的に使用してもらえるよう声掛けを行っていく。

今後の展望

物流スタッフと看護師が連携して、
診療材料費の削減・期限切れ衛生材料の削減を目指します